

ダイワ へら浅ダナ・チョウチンバトル 2016 in 羽生吉沼

開催日 2016年10月29日(土)
開催場所 埼玉県羽生市 羽生吉沼

天候 曇りのち晴れ



去る10月29日(土)、毎年恒例のダイワの秋のへらイベントが開催されました。単純な釣果優先の大会とは異なり、毎年お題を変えて参加者の皆様に楽しんでほしいという趣旨でのイベントで今年のお題は”浅ダナ・チョウチン”。人気のこの2つの釣法をラウンドごとに変えての総重量勝負の大会。その日の状況、各選手の得意・不得意がある中でのオールラウンド性、駆け引きが勝敗を分ける内容です。



朝の釣風景。この時は穏やかでしたが…

当日は曇りのち晴れの天候。前日の冷たい雨と風の予報が気に掛かる中、スタッフの準備が出来る前にほとんどの参加者が揃っており、やる気がみなぎる中受付・釣り座抽選の後、各釣座へと入場されます。

結論から言えば、実はこの釣り座抽選こそ今回の大会の最大の山場だったのかもしれませんが。各自が釣り座に着き、奇数席は浅ダナ、偶数席はチョウチン釣りからスタートです。ほとんどの選手がウドンセットの中、数人は長竿で数日前に放流された1kg以上の新ベラを狙う方もポツポツ。

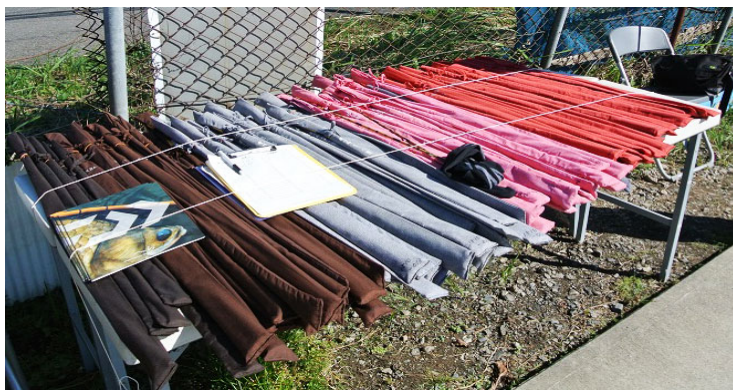
穏やかな天候の中でのスタート。浅ダナの選手のウキが予想よりも良く動いているようで30分も経つとあちこちで竿が立つようになりました。

しかし1時間が経過し、雲が切れて暖かくなってきた頃恐れていたことが。池奥の岩手桟橋の方から吹く風が次第に強くなり、いつしかそれは爆風に…。桟橋でどちら側を向いているかでまさに天国と地獄状態。向かい風の選手はウキが流れてしまいなかなかアタリをもらえない様子でした。

45分の中休みの間にはダイワの新製品「兆」をはじめとした各最新ロッドの貸し出しなどもあり、後半は釣り方を変えて再スタート！
相変わらず向かい側の選手は悪戦苦闘されていますが、それでも少し風が弱まったタイミングではあちこちで竿が曲がります。なかなかアタリが出ない中でも辛抱強くエサを打ち続けている選手は着実に釣果を重ねているようでした。

14時30分の競技終了後は表彰式。そしてお待ちかねのお楽しみ抽選会です。優勝は風を背に受けながら浅ダナ・チョウチン共にコンスタントな釣果を上げた太田選手が見事優勝されました。一方で池澤競技委員長のコメントにもあったように向かい風側の選手からも上位にランクインされた選手も多く、どんな条件でもベストを尽くした選手が報われる結果となりました。

ダイワではへらぶな釣りファンの皆様に向けて気軽に参加できて一日楽しめるイベントを毎年開催しています。是非来年も皆様方のご参加をお待ちしています。



「兆」をはじめとしたダイワ最新ラインナップが勢ぞろい。



順位	氏名	総重量(kg)
優勝	太田 武敏	22.45kg
2位	古川 俊輔	19.29kg
3位	千島 慎太郎	17.23kg
4位	田村 久男	16.81kg
5位	今村 義信	14.40kg